



別添 8 画面デザインの設計方針



目 次

1	設計に当たっての基本的事項	1
2	画面構成	
2-1	前提条件	2
2-2	画面の種類	2
2-3	画面の標準サイズ	2
2-4	画面の表示位置関係	3
2-5	メイン画面の構成	4
2-6	サブウィンドウ画面の構成	7
2-7	データ入力用部品	9
3	画面タイプ	
3-1	単票形式（更新系／参照系）	11
3-2	一覧表形式（更新系／参照系）	13
3-3	単票＋一覧表形式（更新系／参照系）	14
3-4	表示データがない場合の一覧表表示方法	16
3-5	一覧表形式画面の表示行数	16
4	画面遷移のパターン	
4-1	ログインからメニュー画面・各業務画面への遷移	17
4-2	業務画面内の遷移	17
4-3	個別機能画面への遷移	20
4-4	操作ガイドの表示	21
4-5	入力エラーメッセージの表示	22
4-6	バッチ実行時の画面遷移	23
4-7	ファイルダウンロードの画面遷移	24
4-8	単票（形式）画面におけるレコード送り	24
4-9	一覧表、単票＋一覧表（形式）画面におけるページ送り	25
5	ネーミング	
5-1	ブラウザのタイトル名	25
5-2	メニュー掲載事項、画面タイトル及びメニュー階層の名称	25
5-3	ボタン名	25
6	画面スタイル・制約等	26
6-1	入力フォームに関するスタイル	26
6-2	入力禁止文字	26
6-3	文字フォント・文字の配置等	26
6-4	罫線	27
6-5	画面・画像の色彩等	27

1 設計に当たっての基本的事項

本システムは、各府省等（以下「各府省」という。）の全職員が利用する側面（職員利用）と、各府省の人事・給与等業務を実施するために利用する側面（業務担当者利用）の2つの側面があることから、一貫したデザインポリシーの下、各府省の全ての職員にとって利用しやすいユーザビリティ及び情報アクセシビリティを兼ね備えたものとする。また、業務の効率的な遂行の観点から、容易な操作、誤操作の防止に配慮したユーザビリティを備えたものとする。

（１）画面レイアウトの統一性・一貫性

- ・ メニューの位置、色、本システムのポータルサイトへのリンクボタンやその他ボタンの配置位置等を統一し、概観の統一を図る。
- ・ 意味の同じ表示要素は、同じ形や色彩で表示し、同一のものを示す時は同じ用語を使用する。また、専門知識の有無に係わらず、できるだけ分かりやすい表現・用語を用いる。
- ・ 同一又は並列的な作業工程は、同じ手順で達成できるようにする。
- ・ ボタンはクリックできることを直感的に理解できるよう立体感を持たせ、機能に結びつくようなデザインとする。

（２）システム操作の効率性

- ・ 同時に必要となる情報は、可能な限り同時に見えるようにする。
- ・ 使用頻度の高い業務機能はメニューに掲載し、可能な限り少ない操作で利用目的を達成できるようにする。
- ・ 入力欄を使用する時は、何を入力すればよいかを理解しやすく示し、操作しやすいように配慮する。
- ・ 選択肢が多い場合には、効率的に選択できるよう、選択肢の構造化など工夫する。
- ・ T a b によるカーソル移動や入力欄の全角半角文字の自動切替え、入力データのチェックの実施及び分かりやすいエラー内容の表示など、効率的な入力と誤入力の防止に配慮する。
- ・ 重要度や緊急性が高い表示要素は、発見しやすいようにする。

（３）画面遷移

- ・ システム利用者がログイン後、処理すべき案件を把握できるよう画面及び画面遷移を工夫する。
- ・ システム利用者の職務権限を反映した個別画面表示と、それによる画面遷移を提供する。
- ・ データの削除や更新、バッチ処理やログアウトの実行などを行う際は、確認メッセージを表示するなど誤操作の防止に配慮する。

2 画面構成

2-1 前提条件

- ・ 1024×768(ピクセル)の画面サイズ(以下「基準画面サイズ」という。)で表示できるものとし、可能な限りスクロールすることなく表示できるよう画面設計を行う。
- ・ 基準画面サイズ外のPCで縦横幅を確保する必要がある場合には、画面の構成・表示要素がくずれることのないよう、縦横スクロールを利用する。
- ・ 表示画面の最大化・縮小を可能とする。また、画面縮小時は、画面の構成・表示要素がくずれることのないよう、縦横スクロールを効率的に利用する。

2-2 画面の種類

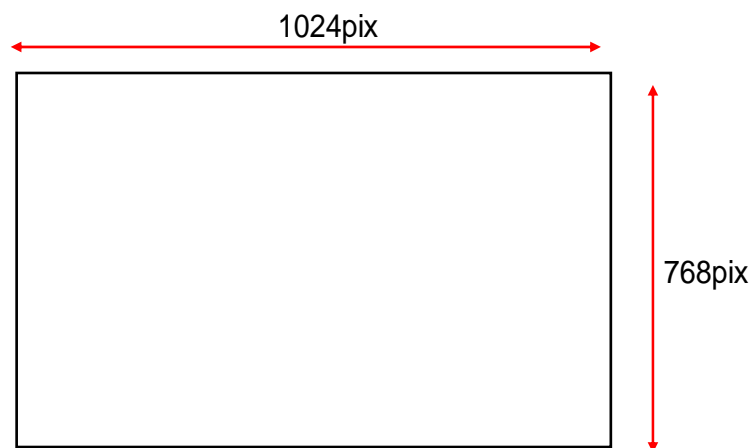
画面の種類は、メイン画面、サブウィンドウ画面(ポップアップ画面)、確認等メッセージ画面とする。

2-3 画面の標準サイズ

各画面の標準サイズは、以下の内容とする。

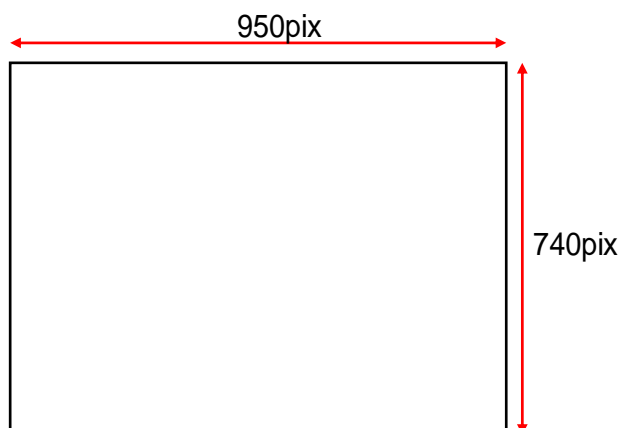
1 メイン画面

メイン画面のサイズは、次の仕様で統一する。



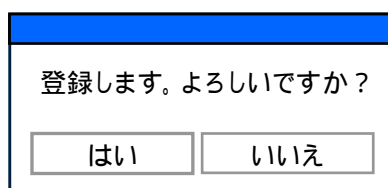
2 サブウィンドウ画面（ポップアップ画面）

サブウィンドウ画面（ポップアップ画面）の標準サイズは次の仕様とし、各業務画面の表示要素の大小によりユーザの理解のし易さ、操作のし易さを考慮し、適宜、適切なサイズに調整する。



3 確認等メッセージ画面

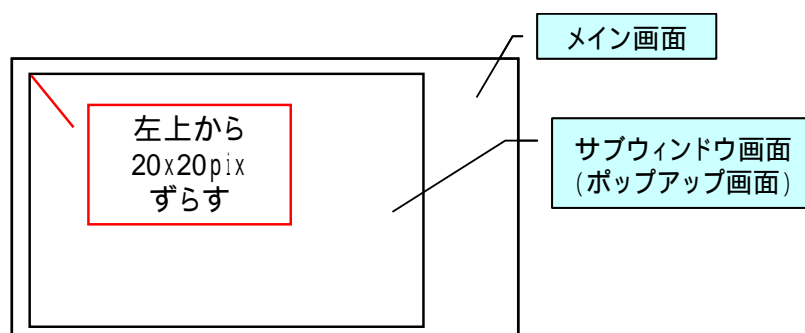
確認等メッセージ画面は、Windows の標準ダイアログを使用し、サイズは Windows の仕様に従う。



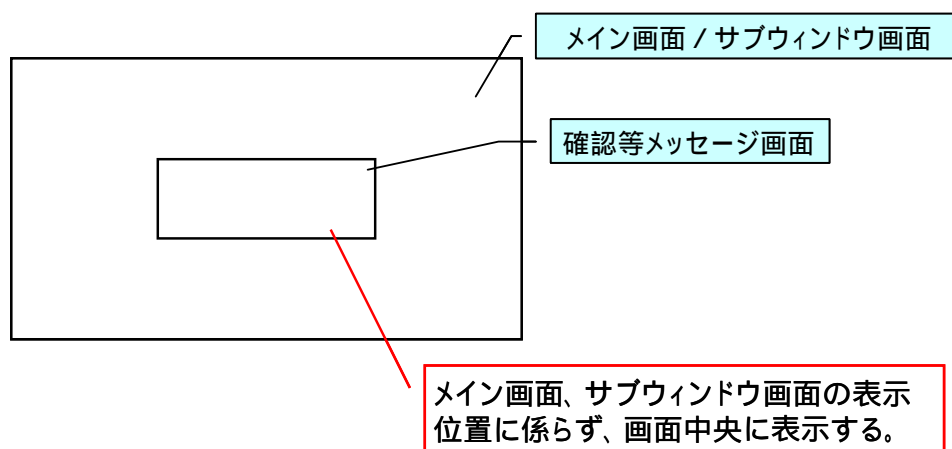
2-4 画面の表示位置関係

画面の表示位置関係は、以下の内容とする。

1 サブウィンドウ画面の表示位置



2 確認等メッセージ確認画面の表示位置



2-5 メイン画面の構成

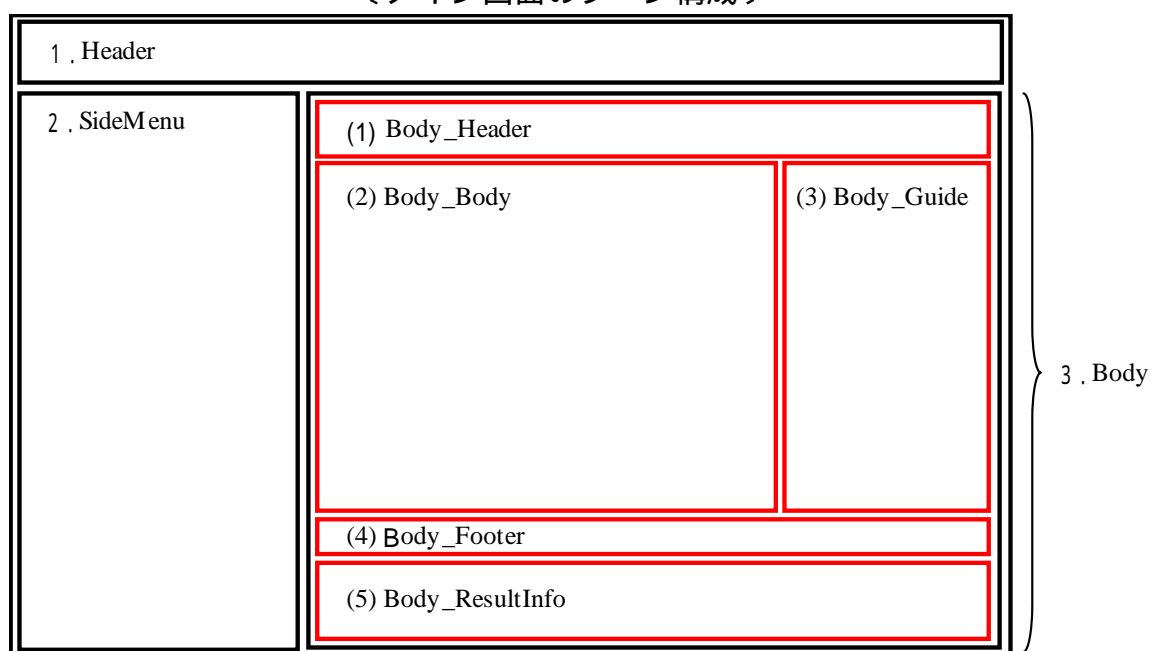
メイン画面の構成は、以下の内容とする。

メイン画面の構成は、Header 部、Side_Menu 部、Body 部の 3 つにゾーンを分ける。

また、Body 部については、Body_Header 部、Body_Body 部、Body_Guide 部、Body_Footer 部、Body_ResultInfo 部の 5 つにゾーンを分ける。

なお、Side_Menu 部及び Body_Guide 部は、そのゾーンの表示・非表示の切替を可能とする。

〔メイン画面のゾーン構成〕



〔画面サンプル〕

人市・給与関係業務情報システム - Microsoft Internet Explorer

ログインユーザ名: 湯河原 健太郎 所属: 大臣官房人事課任免班地方第一任免係

業務日付: 2008/04/01 12:00

メニュー

- 個人メニュー
 - ニューストビッダー一覧
 - お知らせ一覧
 - 届出申請状況一覧
 - 未申請状況一覧
 - 届出
 - 事象別申請
 - 届出申請
- 人事
 - 給与
 - 勤務時間管理
 - 異動
 - 届出受理状況一覧
 - 決裁状況一覧

住所の変更に関する届出

個人メニュー > 届出 > 届別申請 > 住所の変更に関する届出

住所の変更に関する届出

白色は省略可能項目 / * 黄色は必須項目

旧住所

〒 135-8383 東京都江東区越中島1-3 701

新住所

* 入居年月日

* 住所

* 電話番号

申請 一時保存

一時保存処理を実行しました。

ガイド

入居年月日

届出する住所に入居した日付(年月日)を入力してください。
「カレンダー」ボタンを押すと、カレンダーから日付を指定できます。

住所

郵便番号を半角で入力し「住所検索」ボタンを押すと、住所が自動表示されます。
自動表示された住所の続き(町名・番地・アパート名・マンション名・号室など)を、全角で入力してください。
(例) 森町12-3 森マンション456号
海外の住所を入力する際は、郵便番号に「999-9999」を入力した後、全住所内容を全角英数字で入力してください。
(例) ABCDE1-2-3

電話番号

利用する電話番号を入力してください。
変更が無い場合も、以前と同様のものを入力してください。

最寄駅

最寄駅を入力してください。
変更が無い場合も、以前と同様のものを入力してください。

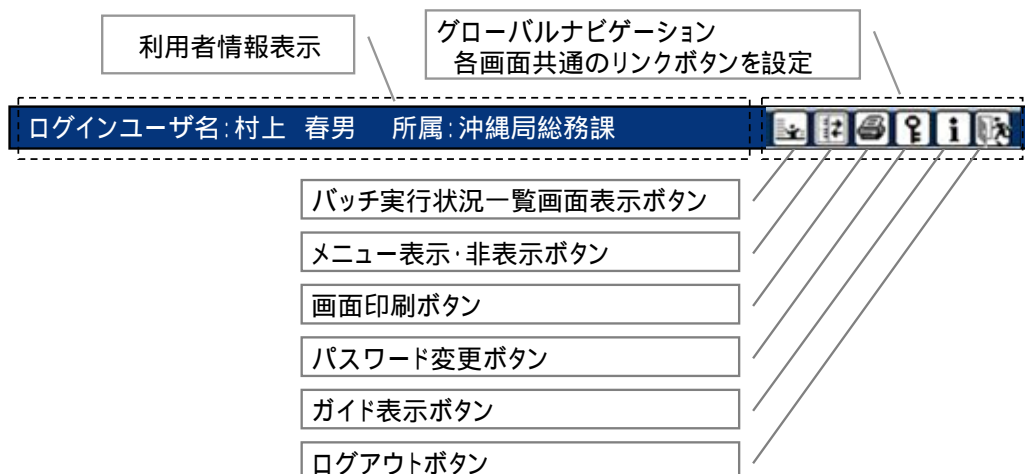
POP表示

閉じる

1 Header 部

Header 部は、利用者情報表示エリアとグローバルナビゲーション表示エリアで構成し、グローバルナビゲーションには各画面共通のリンクボタンを配置する。リンクボタンの画像には alt 属性を付すとともに、画像のデザインはシステム利用者がその機能をイメージでき統一感のあるものとする。

〔Header 部の構成〕



〔 Header 部構成の説明 〕

エリア / ボタン名称	説 明
(1)利用者情報表示エリア	システム利用者情報(ログイン・ユーザ)の氏名及び所属を表示する。
(2)グローバルナビゲーション表示エリア	各画面共通に使用する機能の起動ボタンを配置する。
バッチ実行状況一覧画面表示ボタン	バッチ実行状況一覧画面を表示する。
メニュー表示・非表示ボタン	Side_Menu 部の表示・非表示の切替えを行う。
画面印刷ボタン	閲覧中の画面の印刷を行う。(IE の印刷機能を利用。)
パスワード変更ボタン	パスワードの変更を行う。(パスワード変更画面がポップアップ表示。)
ガイド表示ボタン	Body_Guide 部の表示・非表示の切替えを行う。
ログアウトボタン	システムをログアウトする。(ログアウト前に確認メッセージを表示。)

2 Side_Menu 部

Side_Menu 部には、システム利用者に割り当てられた権限により、使用可能な個人メニュー、業務メニュー等の構造をツリー形式で表示し、+ / - 記号によりツリー構造の折り畳み / 展開ができる。

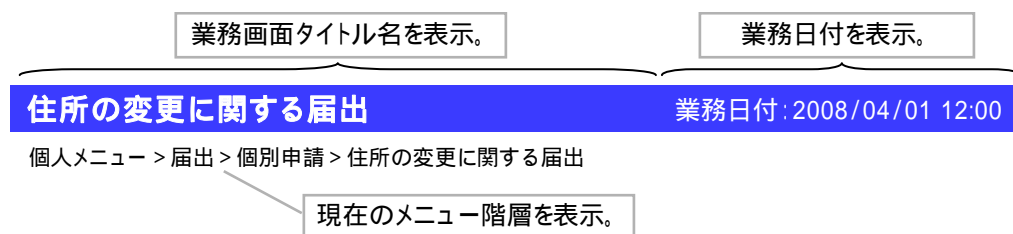
また、横表示幅の伸縮ができ、表示・非表示の切替えを可能とする。

3 Body 部

(1) Body_Header 部

Body_Header 部は、業務画面タイトル名、現在のメニュー階層、業務日付(画面を表示した時点の日付)を表示する。また、必要に応じ、ヘッダータブの表示を行う。

〔 Body_Header 部の構成 〕



(2) Body_Body 部

Body_Body 部は、メニュー(Side_Menu)で選択した業務固有の処理画面を表示する。また、業務画面の特質により、機能ボタンを設けるとともに、必要に応じステップガイドの表示を行う。

(3) Body_Guide 部

Body_Guide 部には、表示している業務画面(Body_Body)の操作ガイドを表示する。画面内には[P O P 表示]ボタンを設け、これを押下することにより操作ガイドをサブウィンドウ画面に表示することができる。また、横表示幅の伸縮ができ、表示・非表示の切替えを可能とする。

関連情報：「4-4 操作ガイドの表示」を参照。

(4) Body_Footer 部

Body_Footer 部には、表示している業務画面(Body_Body)に対するアクションボタン（登録・更新など）、遷移ボタン（戻る・閉じるなど）を配置する。

ボタンの配置に当たっては、原則として、同一機能のボタンは同一場所に配置する。また、ボタンの形式は個別ボタン表示形式とし、配置ボタンするボタン数が多い場合は工夫する。

また、ボタンの表示に当たっては、押下した際、凹む表示とするなどボタンを押下したことが目視で分かるよう、表現方法を工夫する。

（例示）



(5) Body_ResultInfo 部

Body_ResultInfo 部には、表示している業務画面(Body_Body)に対するアクション(登録・更新など)を行った際に、エラーが発生した場合にはエラー内容の表示を、処理が完了した場合には完了情報を表示する。

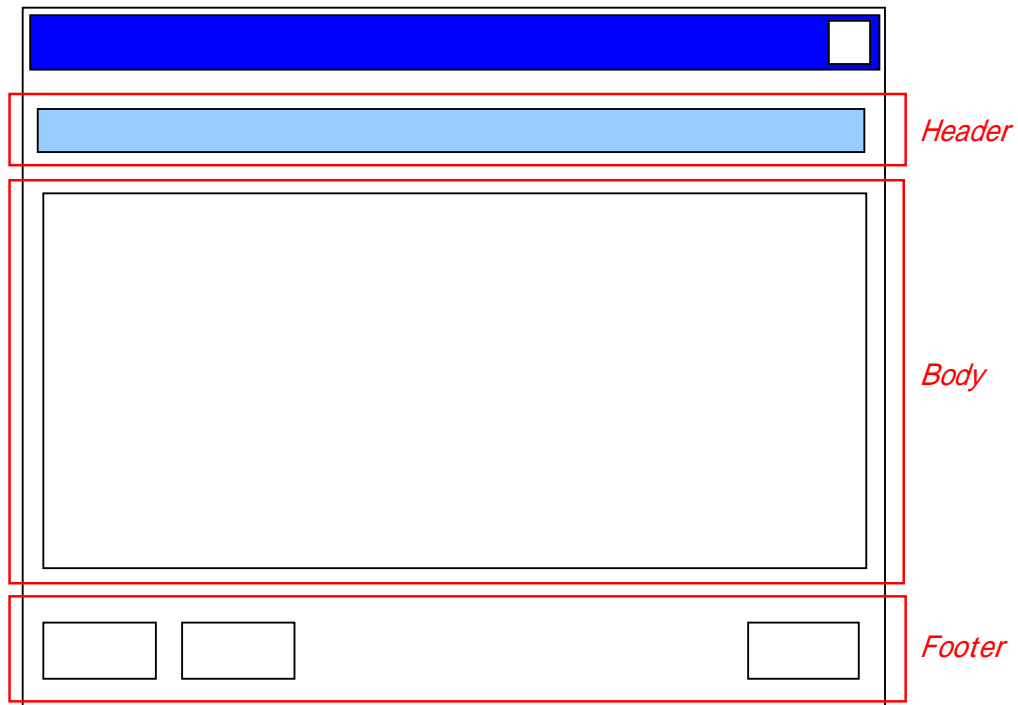
2-6 サブウィンドウ画面の構成

サブウィンドウ画面（ポップアップ画面）の構成は、以下の内容とする。

サブウィンドウ画面の構成は、Header 部、Body 部、Footer 部の 3 つにゾーンを分ける。

なお、Footer 部に配置するボタンの表示形式は、上記 2-5 3(4)に準じる。

〔サブウィンドウ画面のゾーン構成〕



〔ゾーンの説明〕

ゾーン名称	説 明
1 .Header 部	画面タイトル名を表示する。
2 .Body 部	業務固有の要素、入力支援部品等を配置する。
3 .Footer 部	表示している業務画面に対応する各種機能ボタン（実行、登録、戻る、閉じるなど）を配置する。

〔画面サンプル〕

1 Header部

2 Body部

3 Footer部

2-7 データ入力用部品

1 テキストによる入力

入力欄の説明は、基本的に操作ガイドによる表示とするが、特に注意が必要な入力文字数や文字種に制限があるなど場合には、その旨を明示する。また、入力欄は、入力領域であることが分かるよう立体的な表示を行うとともに、入力欄の全角 / 半角の制御を行う。

(1) テキストボックス

住所

・入力禁止文字：半角カナ文字、改行文字

(2) テキストエリア

1行に収まらない文字列の入力の場合に使用する。

備考

月×日より	部に異動

・入力禁止文字：半角カナ文字

2 既定の複数選択肢からの選択入力

既定の複数選択肢から選択して入力する場合には、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウンメニューのいずれかによる方法で入力できるようにする。

(1) ラジオボタン

単一の選択を行う場合に使用する。必ず、どちらかが選択されている状態で表示する。

☒ 男
☐ 女

(2) チェックボックス

複数の選択を行う場合に使用する。初期表示時は、未選択の状態に表示する。

☒ 人事
☒ 給与
☐ 届出

(3) プルダウンメニュー

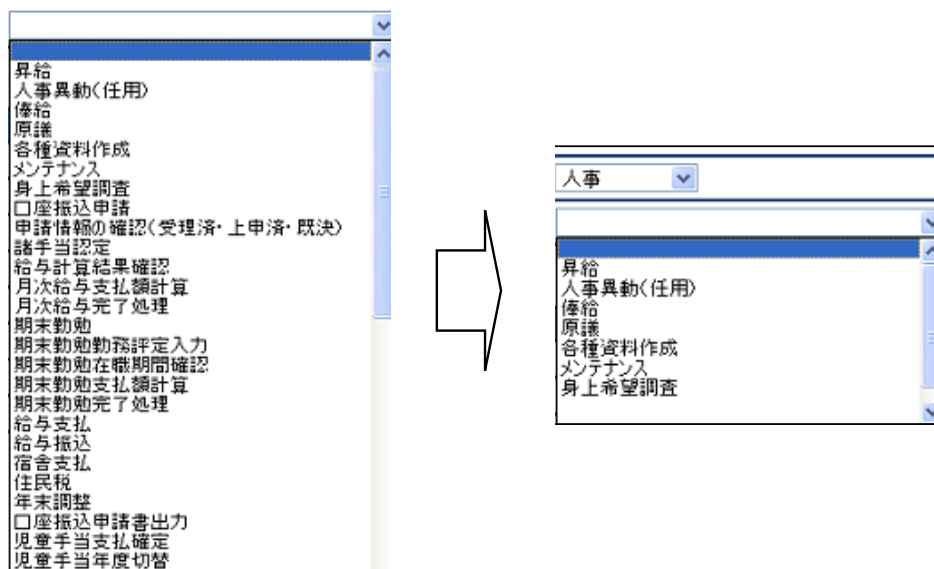
複数の選択肢から一つを選択する場合に使用する。

選択肢が多い場合には、ラジオボタンとプルダウンの組み合わせや複数のプルダウンを設け構造化するなど、効率的に選択対象が絞れるよう工夫する。

また、必須の選択項目でない場合は、先頭に空白行を表示する。初期値表示の設定を可能とする。

表示幅については、原則として、選択肢の内容がすべて表示可能なサイズとし、表示幅が極端に短くて済む場合には、他の構成要素の表示幅と同等のサイズとするなど工夫する。

〔複数プルダウンによる構造化の例〕



3 入力支援部品

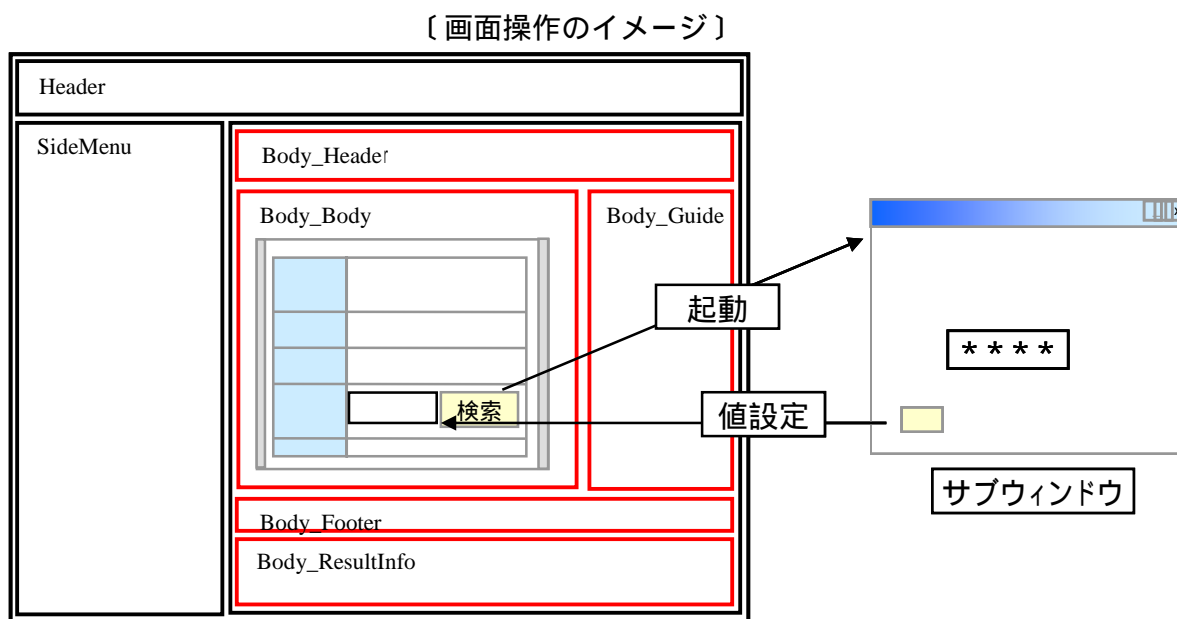
標準として設ける入力支援部品は、次表に示すものとする。

〔入力支援部品一覧〕

部品名	機能概要
検索用	
職員検索	職員番号やカナ名などからの職員検索が行える機能。
組織検索	組織検索が行える機能。
組織/職員検索	組織からの職員検索が行える機能。
住所検索	郵便番号からの住所検索、住所からの郵便番号検索が行える機能。
金融機関検索	ふりがなからの金融機関検索が行える機能。
運賃検索	交通機関等からの運賃検索が行える機能。
家族選択	家族リストから選択できる機能。
地域検索	都道府県からの地域検索が行える機能。

宿舎検索	維持管理機関からの配分宿舎検索が行える機能。
選択用	
日付入力	カレンダーによる日付選択が行える。

改修 S W G 検討結果に基づく操作性を最低限確保し、さらに効率的な手段・方法を検討すること。



3 画面タイプ

画面のタイプは、大別して、 単票形式、 一覧表形式、 単票 + 一覧表形式に分けられ、それぞれ更新系と参照系に分けられる。

それぞれの形式における留意点は、次のとおり。

- ・ Body_Body 部の表示形式は、業務固有の特性やその前画面の画面フォームに応じて、構成要素を分かりやすく配置すること。
- ・ 単票形式及び一覧表形式に表示する構成要素が多く標準画面サイズを超えて表示する場合には、同一画面内にブックマークを設定し画面表示を行うなど、効率的な操作が行えるよう工夫する。(個別に対応)
- ・ Body_Footer 部に配置するボタンの表示形式は、上記 2-5 3(4)に準じる。

3 - 1 単票形式 (更新系 / 参照系)

データ入力やデータ入力後の結果確認、検索結果など職員情報・業務情報を単票形式で表示する場合には、原則として、次に示す画面フォームとする。

〔単票形式（更新系）画面イメージ〕

<div style="background-color: blue; color: white; padding: 5px; text-align: right;"> <input type="button" value="最小化"/> <input type="button" value="最大化"/> <input type="button" value="閉じる"/> </div> <div style="background-color: darkblue; height: 20px;"></div>						<i>Header</i>																							
						<i>Body_Header</i>																							
<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> <前△ 次△> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; background-color: #cccccc;">項目A</td> <td colspan="4" style="height: 25px;"></td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レコード送り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストボックス</div> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">項目B</td> <td style="text-align: center;">X X X</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">X X X</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">項目C</td> <td style="height: 25px;"></td> <td style="background-color: #cccccc;">項目D</td> <td style="width: 20%; height: 25px;"></td> <td style="width: 20%; height: 25px;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">項目E</td> <td style="text-align: center;">レ</td> <td style="text-align: center;">X X X</td> <td style="text-align: center;">レ</td> <td style="text-align: center;">X X X</td> <td style="text-align: center;">□ X X X</td> </tr> </table>						項目A					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レコード送り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストボックス</div>	項目B	X X X	X X X			項目C		項目D				項目E	レ	X X X	レ	X X X	□ X X X	<i>Body_Body</i>
項目A					<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レコード送り</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">テキストボックス</div>																								
項目B	X X X	X X X																											
項目C		項目D																											
項目E	レ	X X X	レ	X X X	□ X X X																								
<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> </div>						<i>Body_Footer</i>																							
						<i>Body_Result Info</i>																							

〔単票形式（参照系）画面イメージ〕

<div style="background-color: blue; color: white; padding: 5px; text-align: right;"> <input type="button" value="最小化"/> <input type="button" value="最大化"/> <input type="button" value="閉じる"/> </div> <div style="background-color: darkblue; height: 20px;"></div>						<i>Header</i>																							
						<i>Body_Header</i>																							
<div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> <前△ 次△> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; background-color: #cccccc;">項目A</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">X X X X X X</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レコード送り</div> </td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">項目B</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">X X X X X X</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">項目C</td> <td style="text-align: center;">X X X X X X</td> <td style="background-color: #cccccc;">項目D</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">X X X X X X</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">項目E</td> <td style="text-align: center;">レ</td> <td style="text-align: center;">X X X</td> <td style="text-align: center;">レ</td> <td style="text-align: center;">X X X</td> <td style="text-align: center;">□ X X X</td> </tr> </table>						項目A	X X X X X X				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レコード送り</div>	項目B	X X X X X X				項目C	X X X X X X	項目D	X X X X X X			項目E	レ	X X X	レ	X X X	□ X X X	<i>Body_Body</i>
項目A	X X X X X X				<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">レコード送り</div>																								
項目B	X X X X X X																												
項目C	X X X X X X	項目D	X X X X X X																										
項目E	レ	X X X	レ	X X X	□ X X X																								
<div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> <div style="width: 20%; height: 25px;"></div> </div>						<i>Body_Footer</i>																							
						<i>Body_Result Info</i>																							

3 - 2 一覧表形式（更新系 / 参照系）

データ入力やデータ入力後の結果確認、検索結果、業務案件・お知らせ情報など職員情報・業務情報を一覧表形式で表示する場合には、原則として、次に示す画面フォームとする。

〔一覧表形式（更新系）画面イメージ〕

(注) 一覧形式専用ボタンの表示方法について
次の例のように、全選択/選択クリアボタンを設定しないなどの場合は、ボタンを詰めて表示させる。
(一覧表形式参照系、単票 + 一覧表形式の参照系 / 更新系も同様)

〔一覧形式専用ボタンの説明〕

専用ボタンの名称	説 明
1. 全選択	行を選択するチェックボックスが一覧表に存在する場合、全てのチェックボックスにチェックを入れる機能。
2. 選択クリア	行を選択するチェックボックスが一覧表に存在する場合、全ての

	チェックボックスのチェックを外す機能。
3.絞込	特定のレコードのみを一覧表に表示させる機能で、一覧表の表示項目(列)により絞り込むことが可能。条件設定は、サブメニュー画面(ポップアップ)を表示させ、設定する。
4.ソート	指定した条件により一覧表のレコードの並べ替えを行う機能で、一覧表の表示項目(列)により昇順・降順の設定が可能。条件設定は、サブメニュー画面(ポップアップ)を表示させ、設定する。
5.解除	絞り込み、ソート機能を解除する機能。

〔一覧表形式(参照系)画面イメージ〕

The diagram illustrates the layout of a list view screen, divided into several functional areas:

- Header:** The top section, highlighted in blue, containing window control buttons (minimize, maximize, close).
- Body_Header:** A light blue header bar below the main header.
- Body_Body:** The main content area containing:
 - Page navigation: <前 1 2 3 4 5 6 次>
 - Action buttons: 全選択, 選択外, 絞込, ソート, 解除
 - Summary text: XX件中XX~XX件目を表示
 - Table with 4 columns: 項目A, 項目B, 項目C, 項目D
- Body_Footer:** A section at the bottom containing three input fields.
- Body_Result Info:** A final section at the very bottom.

Additional labels on the right side of the diagram point to specific elements:

- ページ送り (Page Navigation)
- 総件数/表示範囲を表示 (Display Total Count/Range)
- 一覧形式専用ボタンを表示 (Display List View Dedicated Buttons)

3-3 単票 + 一覧表形式(更新系 / 参照系)

単票形式と一覧表形式を組み合わせた画面タイプで、画面上部に単票形式を設け、その下一覧表形式を表示させる。

〔単票 + 一覧表形式（更新系）画面イメージ〕

Header

Body_Header

Body_Body

Body_Footer

Body_Result Info

Single Form Section

List Form Section

Page Navigation

Total/Range

List Form Buttons

Text Box

〔単票 + 一覧表形式（参照系）画面イメージ〕

Header

Body_Header

Body_Body

Body_Footer

Body_Result Info

Single Form Section

List Form Section

Page Navigation

Total/Range

List Form Buttons

Text Box

3 - 4 表示データがない場合の一覧表表示方法

一覧表形式の画面で表示データがない場合は、次に示す画面フォームとする。なお、単票 + 一覧表形式の画面についても同様とする。

〔画面表示イメージ〕

<div style="background-color: blue; color: white; padding: 5px; display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;">— □ ×</div>				<i>Header</i>							
				<i>Body_Header</i>							
<前へ 1 2 3 4 5 6 次へ>				<i>Body_Body</i>							
<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"><div>全選択 選択クリア 絞込 ソート 解除</div><div>xx件中xx～xx件目を表示</div></div>				総件数 / 表示範囲を表示							
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"><tr><th style="width: 25%;">項目A</th><th style="width: 25%;">項目B</th><th style="width: 25%;">項目C</th><th style="width: 25%;">項目D</th></tr><tr><td colspan="4" style="height: 20px;"></td></tr></table>					項目A	項目B	項目C	項目D			
項目A	項目B	項目C	項目D								
該当するデータがありません。				<i>Body_Footer</i>							
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"><div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div><div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div></div>											
				<i>Body_Result Info</i>							

3 - 5 一覧表形式画面の表示行数

1 画面に表示する一覧表の行数は、最大 50 行表示とする。

なお、一覧表の表示行数は、画面表示やデータ更新実行時のレスポンスに大きく影響することから、外部情報での登録・変更が各府省で設定（50 行以下）できる仕組みを用意する。

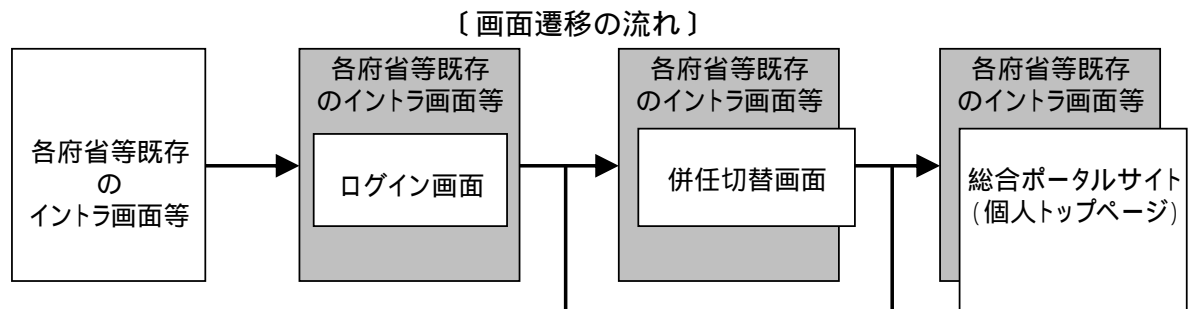
4 画面遷移のパターン

画面遷移のパターンは、大別して、ログインからメニュー画面・各業務画面への遷移、業務画面内の遷移、業務画面から個別機能画面への遷移、その他の画面遷移に分けられる。

4 - 1 ログインからメニュー画面・各業務画面への遷移

ログインからメニュー画面及びメニュー画面から各業務画面への遷移は、原則として、次に示す方法とする。

なお、各府省既存のイントラ画面等による設定（本システム接続後のイントラ画面の表示・非表示の制御を含む。）は、各府省がそれぞれ別途行う。



4 - 2 業務画面内の遷移

業務画面内の遷移は、原則として、次に示す方法とする。

1 一覧表形式 単票形式

一覧表形式画面

項目A	項目B	項目C	項目D
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X

単票形式画面

検索

X X X X X X

X X X X X X

X X X X X X

(凡例)
→ メイン画面の遷移

(注)行を選択するチェックボックスが存在する一覧表形式画面において、複数行を選択した場合には、単票画面上でレコード送りを可能とする。

2 一覧表形式

一覧表又は単票 + 一覧表形式

単票形式

一覧表形式画面

項目A	項目B	項目C	項目D
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X

一覧表形式画面 or 単票
+ 一覧表形式画面

項目A	X X X X
項目B	X X X X X X X X
項目C	X X X X
項目D	X X X X

項目A	項目B	項目C	項目D
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X

単票形式画面

項目A	X X X X	検索	
項目B	X X X	X X X	
項目C	X X X X	項目D	X X X
項目E	<input checked="" type="checkbox"/> X X X	<input checked="" type="checkbox"/> X X X	<input type="checkbox"/> X X X

(凡例)

→ メイン画面の遷移

(注) 上記 1 (注) と同じ。

単票形式画面

項目A	X X X X	検索
項目B	X X X	X X X
項目C	X X X X	項目D X X X
項目E	<input checked="" type="checkbox"/> X X X	<input checked="" type="checkbox"/> X X X <input type="checkbox"/> X X X

一覧表形式画面 or 単票
+ 一覧表形式画面

項目A	X X X X
項目B	X X X X X X X X
項目C	X X X X
項目D	X X X X

項目A	項目B	項目C	項目D
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X
X X X X	X X X	X X X X	X X X X X X

単票形式画面

項目A	X X X X	検索
項目B	X X X	X X X
項目C	X X X X	項目D X X X
項目E	<input checked="" type="checkbox"/> X X X	<input checked="" type="checkbox"/> X X X <input type="checkbox"/> X X X

(凡例)

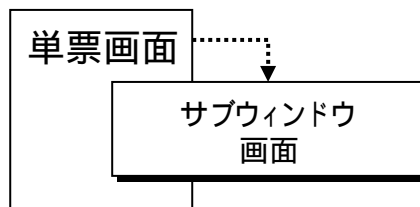
→ メイン画面の遷移

(注) 上記 1 (注) と同じ。

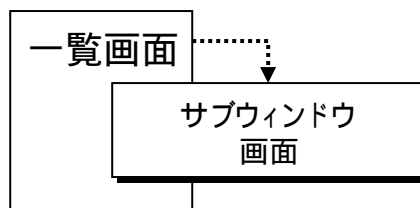
4 - 3 個別機能画面への遷移

業務画面内の個別機能画面内への遷移は、原則として次に示す方法とする。

1 単票形式画面 サブウィンドウ画面（ポップアップ画面）



2 一覧表形式画面 サブウィンドウ画面（ポップアップ画面）

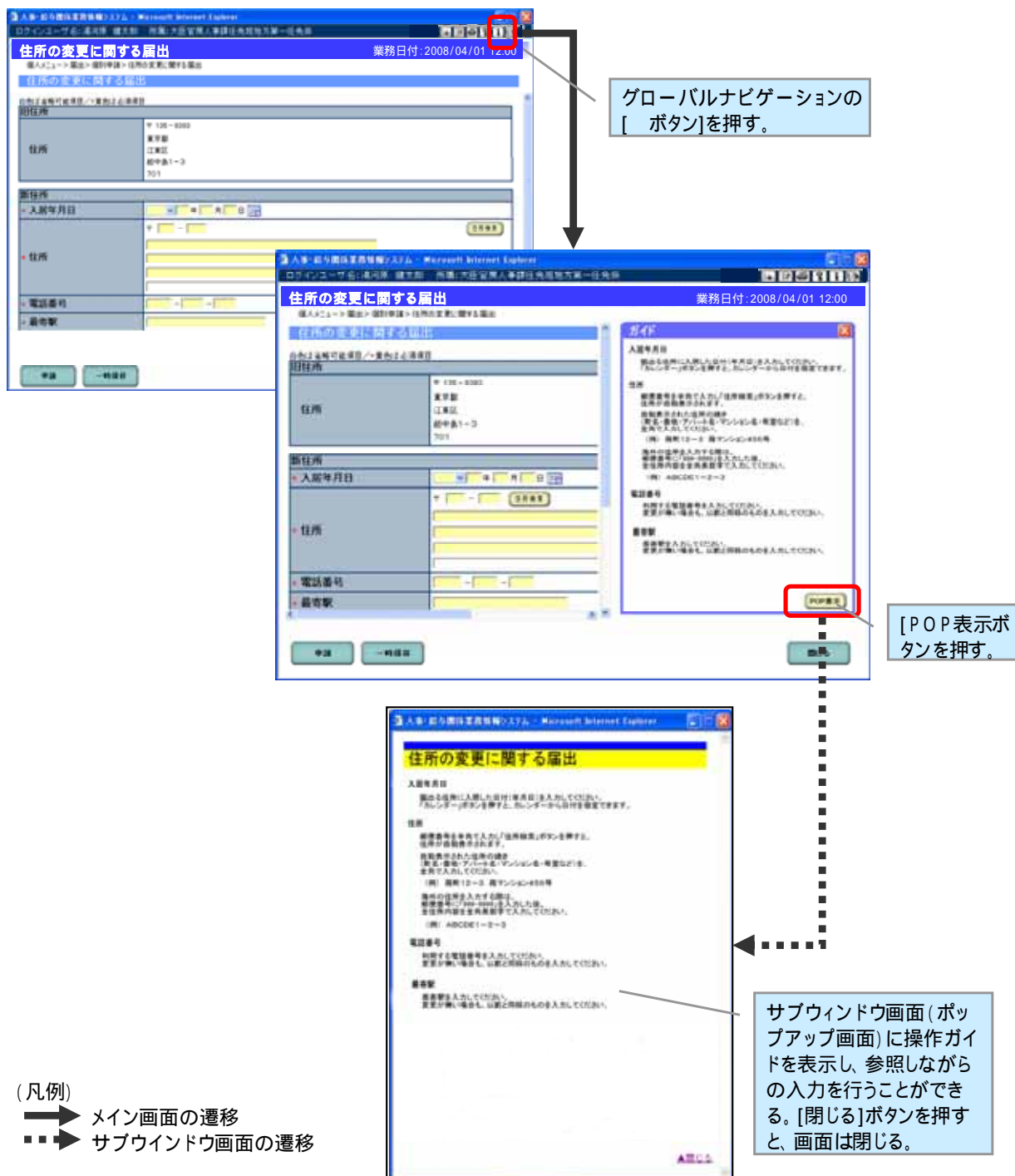


4 - 4 操作ガイドの表示

グローバルナビゲーションにあるガイド表示ボタンを押下することにより、Body_Guide 部に操作ガイドを表示する。

さらに、Body_Guide 部のPOP表示ボタンを押下することにより、サブウィンドウで操作ガイドを表示する。

〔画面遷移・表示イメージ〕

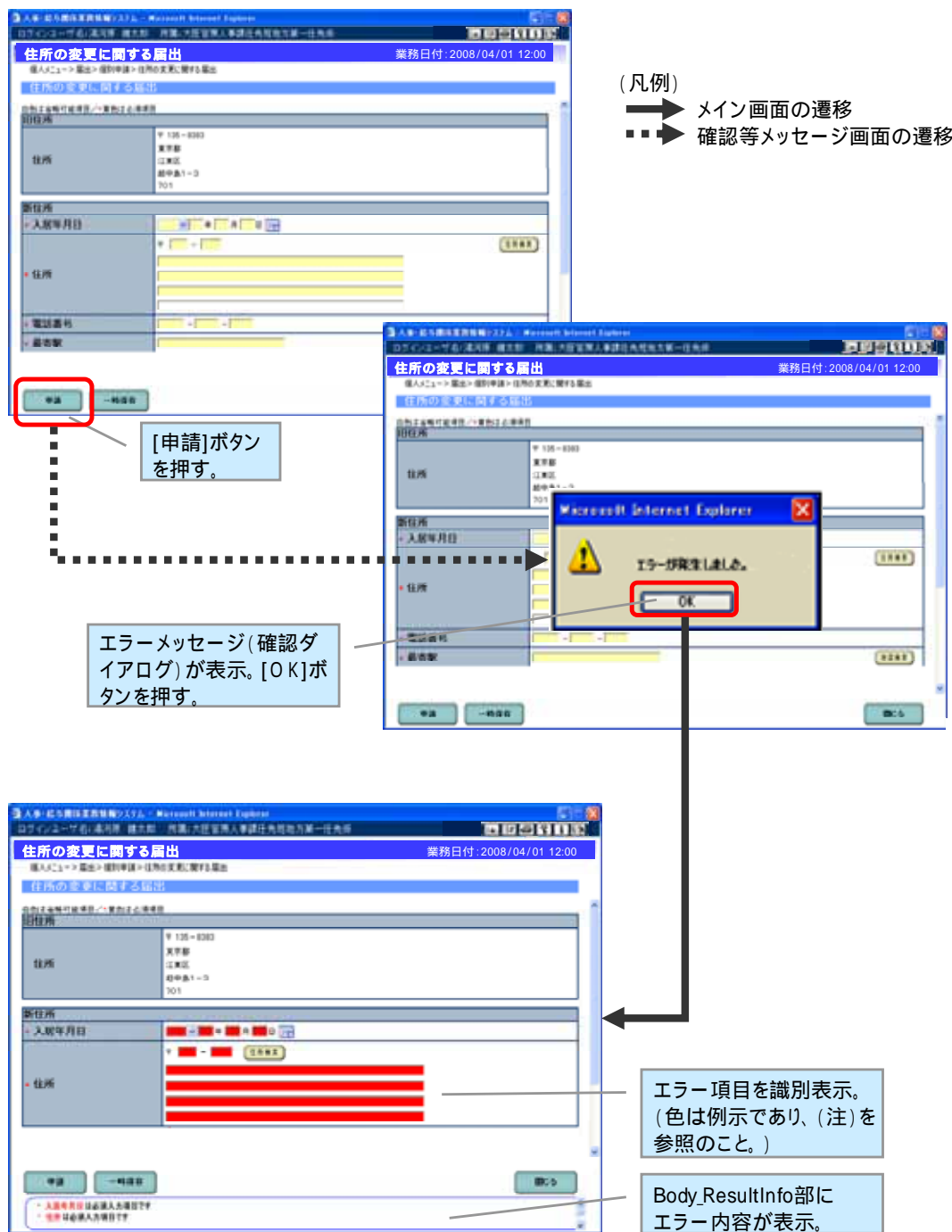


4 - 5 入力エラーメッセージの表示

入力データにエラーがある場合には、確認ダイアログによりエラーメッセージを表示する。

確認ダイアログのOKボタンを押下すると、エラー発生項目を識別表示させ、Body_ResultInfo 部にエラー内容を表示する。

〔画面遷移・表示イメージ〕



(注) エラー項目の識別方法は、元の入力データが確認できる方法とする。

4 - 6 バッチ実行時の画面遷移

業務画面でバッチを実行後の画面遷移は、原則として次に示す方法とする。

業務画面でバッチを実行。

当該バッチのバッチ実行状況画面をサブウィンドウで表示。(更新日時を表示)

バッチ実行状況画面の[次へ]ボタンを押下。

- ・ 正常終了していれば、その結果画面に遷移。
 - ・ 処理中であれば、その結果画面に遷移(一覧表ヘッダー部まで表示)。
- バッチ終了時のお知らせ通知。

〔画面遷移・表示イメージ〕

〔画面遷移・表示イメージ〕

Step1 グループ名登録 > Step2 抽出結果確認 / 定年日通知一覧

〔基本情報〕 *黄色項目は必須入力項目

*作業グループ名	平成20年度定年退職者抽出 / 通知書作成・発行(大臣官房扱い分)		
*コメント	大臣官房人事課 係 担当: 山川		
*定年退職予定年度	平成 20 年度	データ保存期間	12 か月保存

〔抽出条件設定〕 (注)抽出条件設定欄は、任命権者欄、組織欄のいずれかの指定が必要。

*バッチ実行状況一覧

〔メッセージ〕: バッチ処理を実行しました。

バッチ名	業務名	業務グループ名	起動予定時刻	ステータス	添付
平成20年度定年退職者 / 通知書作成・発行(大臣官房扱い)	人事		平成19年 月 日 時 分	正常終了	

再表示 [次へ] 閉じる

抽出実行
実行しました。

バッチ処理を実行。

正常終了すると、画面遷移し、抽出結果を表示する。処理中の場合は、一覧表ヘッダー部まで表示する。

Step1 グループ名登録 > Step2 抽出結果確認 / 定年日通知一覧

<前へ123456次へ>

作業グループ名	退職予定年度	退職予定年月日	抽出対象職種
平成20年度定年退職者 / 通知書作成・発行(大臣官房扱い分)	平成20年度	平成21年3月31日	
大臣官房	部	局	大学校 地方 局

50件中1件目 ~ 50件目を表示

職員番号	氏名	年齢	職名	組織	退職事由	定年予定日	定年日通知書通知日
001501		60	局長	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001678		61	部長	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001712		60	課長	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001724		61	課長	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001725		60	課長補佐	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001726		60	課長補佐	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001727		60	課長	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001735		60	課長補佐	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001736		61	課長補佐	×	定年退職	平成 21年03月31日	
001737		61	課長補佐	×	定年退職	平成 21年03月31日	

登録 | 登録抹消 | 追加 | 通知書作成 | エクスポート | 既存ファイル選択 / 削除画面へ

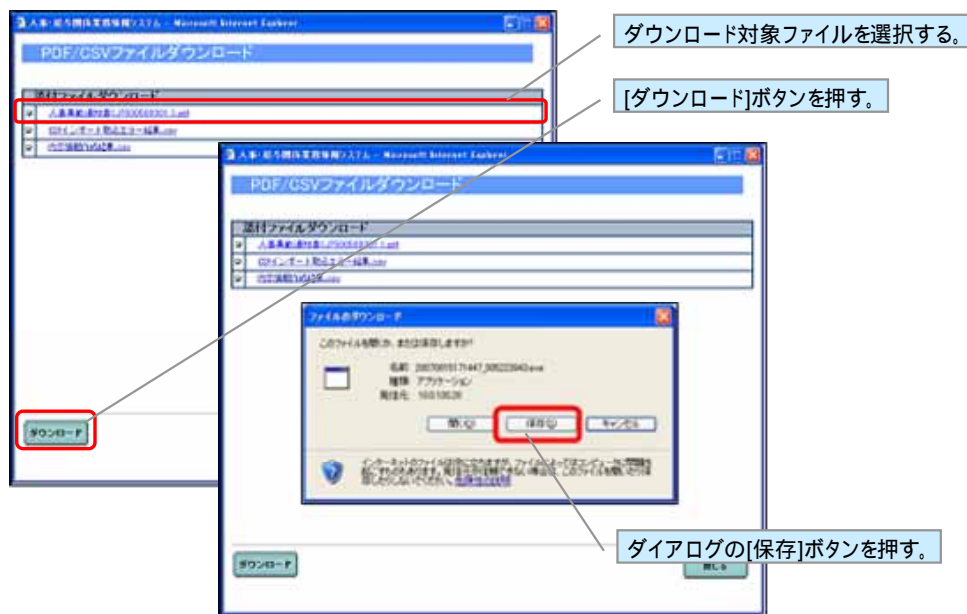
技術面の確認を行い、さらに効率的な手段・方法を検討すること。

(凡例)

- ➡ メイン画面の遷移
- ⋯➡ サブウィンドウ画面の遷移

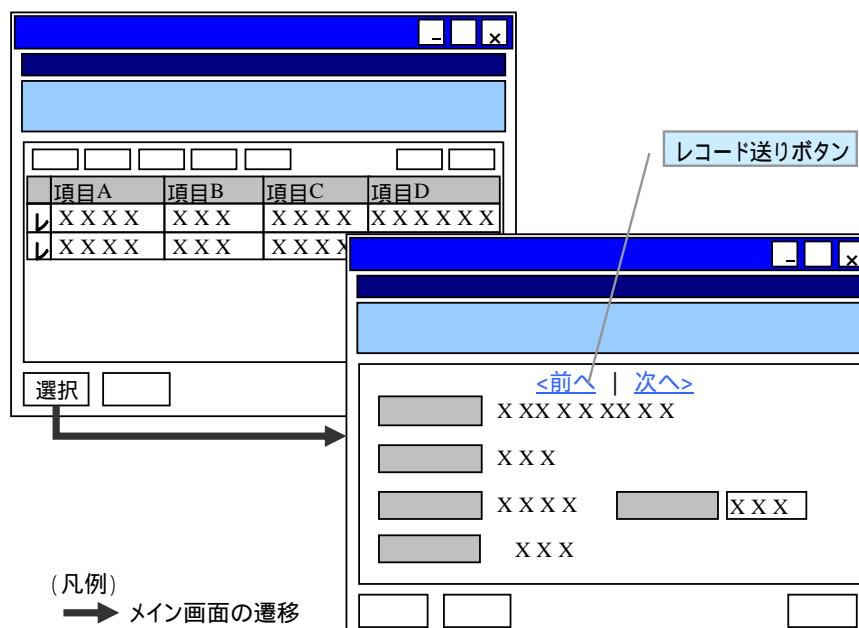
4 - 7 ファイルダウンロードの画面遷移

ファイルのダウンロードは、原則として、次に示す方法とする。



4 - 8 単票(形式)画面におけるレコード送り

行を選択するチェックボックスが存在する一覧表画面において、複数行を選択した場合には、単票画面上でレコード送りを可能とする。



4 - 9 一覧表、単票 + 一覧表(形式)画面におけるページ送り

一覧表にすべてのレコードを表示できない場合には、ページ送りボタンにより一覧表のページ送りを可能とする。



5 ネーミング

5 - 1 ブラウザのタイトル名

ブラウザのタイトル名は、「人事・給与関係業務情報システム」とする。

〔画面の表示例〕



5 - 2 メニュー掲載事項、画面タイトル及びメニュー階層の名称

メイン画面の Side_Menu 部に掲載するメニュー及び各個別業務画面の画面タイトル名は、簡潔・明瞭な表現とする。

また、現在のメニュー階層の名称は、メニュー階層・構造を組み合わせて表示する。

5 - 3 ボタン名

ボタン名は、その処理内容が分かる簡潔・明瞭な名称とする。

6 画面スタイル・制約等

画面スタイル・制約等は、原則として、以下のとおりとする。

6 - 1 入力フォームに関するスタイル

1 一般的注意

- ・ 入力欄の説明は、基本的に操作ガイドによる表示とするが、特に注意が必要な入力文字数や文字種に制限がある場合には、入力欄の前にその旨を明示する。
- ・ 入力欄は入力領域であることが分かるよう立体的な表示を行う。
- ・ 入力欄の全角 / 半角の制御を行う。
- ・ 入力項目の大きさは、余裕のある入力領域を確保すること。
- ・ 入力項目間の移動は、TABキーによる移動を可能とすること（各種ボタンも含む。）

2 必須入力項目と入力項目の識別とスタイル

- ・ 入力項目のうち必須入力項目については、当該項目欄に「＊」を明示するとともに、その入力領域は背景色で識別し、ラジオボタン、チェックボックス、プルダウン選択、テキスト入力などを問わずその領域を識別させること。
- ・ 必須入力項目 / 省略可能項目がわかるよう、「白色は省略可能項目 / ＊黄色は必須項目」を凡例として画面上に明記する。

6 - 2 入力禁止文字

入力禁止文字は、次のとおりとする。

半角カナ

6 - 3 文字フォント・文字の配置等

1 文字フォント

画面に使用する文字フォントは、原則として、次のとおりとする。

- ・ 文字フォントは、原則として「MS Pゴシック」「MS UIゴシック」とする。また、機種に依存する文字フォントや文字種は使用しない。
- ・ 英文を用いる場合には、文頭を大文字、以下を小文字とする。また、製品名は、その製品の表記と同様とする。

2 文字の配置

文字の配置は、原則として、次のとおりとする。

- ・ 数値 : 右寄せ
- ・ 文字列 : 左寄せ

3 金額の表記

金額の入力に当たっては、数字のみの入力、3桁ごとのカンマ区切りで入力、どちらの方法も可能とする。

また、修正画面では、表示時にカンマ区切りで表示し、その訂正入力に際しては、数字のみの入力、3桁ごとのカンマ区切りで入力、どちらの方法も可能とする。(小数点についても同様)

(例) “XXX,XXX,XXX”、“-XXX,XXX,XXX”、“XXX,XXX.X” など

4 年月日、時間の表記

年月日は、次のいずれかとする。

平成 20 年 04 月 01 日 12:00 (数字部分は半角)

H20/04/01 12:00 (半角)

2008/04/01 12:00 (半角)

6 - 4 罫線

画面に用いる標準的な罫線は、原則として、一覧表の外枠、縦線及び一覧表上の1明細の区切りは太線とし、それ以外は細線とする。

6 - 5 画面・画像の色彩等

画面・画像の背景色と前景色は、十分なコントラストを取り、識別しやすい配色とする。また、画面表示のレスポンスに影響を及ぼさないよう、ファイルサイズを極力小さくするよう配慮する。

(1) イラスト(階調が単純なイメージ画像)は GIF 化し、減色を施す。ファ

イルサイズは、20KB 以下を目安とする。

- (2) 写真(階調が複雑なイメージ画像)は JPEG 化し、減色を施す。ファイルサイズは、20KB 以下を目安とする。
- (3) GIF についてはインターレース、JPEG についてはプログレッシブを使用し、体感速度の向上を図る。
- (4) 使用する色は、以下を参考に配色を行い、コントラストの強い色の組み合わせは避ける。

以上